

第4回大阪府市都市魅力戦略推進会議 議事概要

1 開催日時

平成25年9月6日(木) 10:00~12:00

2 場所

大阪市公館

3 出席者(50音順)

委員：池末委員、太下委員、嘉名委員、橋爪委員

経済界：大阪商工会議所 吉田地域振興部課長

関西経済同友会 松尾企画調整部長

関西経済連合会 西参与

4 議事概要

(橋爪委員)

本会議は議題1・2は公開ですが、議題3のシンボルイヤーの取組みに関しましては、府市が行う企画に関する情報であって、正式発表前の情報であり、会議を公にすることにより、正式な意思決定を阻害する恐れがあることから、大阪府の「情報公開条例第8条第1項第3号」、また大阪市の「審議会等の設置及び運営に関する指針第7条第1項第1号(エ)」に規定する内容であり、会議公開の適用除外に該当します。よって議題3につきましては会議を非公開とさせていただきたく存じますので、ご了承をお願いします。

1) 三つの重点取組みについて

【三つの重点取組について事務局より説明】

(嘉名委員)

- ・三つの重点取組みの中で水と光について一つお願いがある。大阪市が事務局になって進めている BID について、公共空間の利活用管理について突っ込んだ議論をしながら新しい制度構築を進めているところ。水と光は色々な主体が連携してやっていく仕組みになりつつあって、公共空間の利活用がポイントになると思う。BID の検討会に水と光の立場からの意見を言って欲しい。水と光が立ち上がっていくとビジネスモデルについて課題になる。将来的に BID と連動していくことが望ましいと思う。
- ・水と光の首都を目指すのであれば、通常のやり方ではなく、新しい制度の検討やより突っ込んだ支援をお願いしたい。
- ・個別の重点取組みが成果を上げてきたとき、それぞれの取組みがどう連動して成果を上げていくのかが次の課題である。

(池末委員)

- ・大きく二点ある。
- ・まずそれぞれの事業が、都市魅力を感じてくれる府民・観光客から見てわかりやすく楽しみやすいものになっているのかのチェックが必要。
- ・もう一つは民間の力を活用して進めていこうとしているが、民間の遠慮を感じる。まだ発足したばかりだから仕方がないが、なるべく民間に暴れていただき、民間が本来の力を発揮できるように、府市が導いて欲しい。

(太下委員)

- ・観光客の情報の受け取り方について。観光客の立場からすると、水と光の情報はじめ大阪のあらゆる文化的な情報やアクティビティを一元的に確認できるものが必要。民間主導でやるべきことだと思うので、良質な文化情報提供マガジンの作成を、最初は官が支援する形で民間の事業として立ち上げることも検討いただきたい。
- ・また、チケットシステムと情報提供を同時に行うシステムの構築も必要。

(大商 吉田部長)

- ・都市魅力戦略推進会議の大きな方針としては民間の活力がある。ただ、池末委員がおっしゃったように、民間からの規制緩和要望は遠慮しがちである。行政側から規制緩和を誘導するような仕組みがあればいい。民間の活力を引き出すには行政のシードマネーか規制緩和だが、今はどちらも中途半端な印象。
- ・アーツカウンシルに関して民間は関わっていないが、民間側からのアーツサポートをという話もある。そうなった場合は、官民バラバラにならず、すり合わせて行く必要がある。

(関経連 西参与)

- ・民間の活力を引き込むのがポイント。道路や公園を活用しやすくする規制緩和や占用料の減免等があればよい。

(橋爪委員)

- ・都市魅力創造戦略では2015年を目途に、民間でできることは民間でという考えのもと様々な取り組みを行っている。
- ・エリアの価値を高めることは重要。
- ・戦略を立ち上げる以前・以後で政策内容が変わっている。大阪府市で方向性を同じくして大阪の価値を高めることを成果として取り組んでいく。

2) 5つのエリアマネジメントについて

【5つのエリアマネジメントについて事務局より説明】

(嘉名委員)

- ・大阪城関連が進んでいる印象。大阪城のPMO (Park Management Organization) 事業者公募で行っている事前事業提案は、民間と公共施設の対話の一つの形で他の事業のモデルになる形。是非成果を上げていただきたい。通常の公園利用より大胆に規制緩和が図られることを期待している。
- ・従来型の公共施設はにぎわい創造や都市魅力を前提として整備されていないので、民間が利活用できる土壌を作って欲しい。
- ・長期の土地貸付 (10年以上) を可能にすることで、民間の大規模な投資を呼びこめる。

(橋爪委員)

- ・この話は条例改正が必要なのか

(嘉名委員)

- ・そうである。いくつかクリティカルな制度仕組みがあるなら、そのあたりも見直すことを考えるべき。

(池末委員)

- ・それぞれの取組みの中で、特に注目して欲しいもの、成功させたいものがあれば教えていただきたい。

(大阪府 大下局長)

- ・それぞれが大阪を際立たせるものであるが、2015年の大阪城のイベントがメインとなり、市町村を含めたそれぞれの地域と連携して行くことを考えている。

(太下委員)

- ・大阪城の事前提案は非常におもしろく、先進的な施策になると思う。府市が取り組む都市魅力創造自体が観光資源になることもある。大阪が先進的な施策を行っていることが東京には伝わりにくいが、都市魅力創造施策自体を観光にし、視察を受け入れるようなメタ観光も今後考えられる。

3) シンボルイヤーの取組について

【シンボルイヤーの取組について事務局より説明】

シンボルイヤーの取組、ロゴマーク・キャッチフレーズ、民間企業からの提案について意見交換